

教育目標

ひのっ子が世界へ
のびようともを
つくるう夢を
こえよう自分を

紙面から

中学生「東京駅伝」大会、ひのっ子ががんばってます、
教育センター『調査・研究』の発表会……………1
八ヶ岳高原大成荘、移動図書館ひまわり号、
郷土資料館の資料、日野市ロープジャンプ小学生大会、他・2

第7回 中学生「東京駅伝」大会



2月7日(日)味の素スタジアム・都立武蔵野の森公園特設周回コースにおいて、第7回中学生「東京駅伝」大会が開催されました。「東京駅伝」大会は、中学生の健康増進や持久力をはじめとする体力向上、スポーツの振興及び生徒の競技力向上を目的として区市町村対抗の中学校2年生による駅伝競走を実施しているものです。女子は16区間30km、男子は17区間42.195kmを標を受け継いで走ります。日野市では、12月5日(土)に行われた市民ロードレース大会にて選手選考を行い、各中学校から補員も含めて、男女21名ずつの総勢42名の日野市代表チームを決定しました。

その後、12月12日(土)、12月19日(土)、1月9日(土)の3回の合同練習を行いました。

男女ともに、キャプテンを中心に、自主的に集中して練習に取り組まれました。男子キャプテンは、大会に向けて真摯に準備する姿勢、妥協を許さない率先垂範の態度で周囲を牽引しました。女子キャプテンは、練習の時から積極的に声をかけ、コミ



ユニケーションを取る中で、市内の学校から集まったチームを一つにまとめていきました。

集まった選手たちも、「自校の代表」「日野市の代表」という自覚を高くもち、コーチの指導から学び、自身のできることに一生懸命取り組みました。また、選手たちは短い練習時間を充実させることを意識し、練習の雰囲気を楽しみ、集中したものにするために周囲と積極的に関わりました。練習の充実が記録にも現れ、練習ごとに、個人の記録も伸びました。

1月9日(土)の合同練習の後には、日野第一中学校で結団式を行いました。市長、教育長、各中学校の校長から激励の言葉をかけ、選手一人一人が決意の言葉を表明し、男女それぞれのキャプテンがチームを代表して大会に向けての抱負を発表しました。

1月24日(日)には、大会の会場となる味の素スタジアム・都立武蔵野の森公園特設周回コースを使用した試走会に参加し、選手席、ウォーミングアップ場所の確認、コースの試走や、コースを使つてのタイムトライアルなど、本番を想定した準備を進めました。



2月7日の大会当日は、午前10時に女子がスタートしました。昨年は冷たい雨の中でのレースでしたが、今年は好天に恵まれ、男子の代表選手たちも力いっぱい応援し、21位でゴールしました。続いて、午後1時、男子のレースがスタートしました。女子の代表選手たちの応援の力もあって、昨年よりタイムを縮め15位でゴールしました。

日野市の総合順位は17位となりました。一人一人が力を出し切り、チーム日野の団結力が実を結んだ結果でした。来年度も今年以上の成績を目指して取り組みます。

当日は、各中学校の校長先生、副校長先生はじめ、多くの先生、保護者の皆様に応援していただきました。また、大会まで生徒たちを支えてくださった皆様に感謝いたします。

教育センター活動報告・調査研究発表会

教育センターでは、活動報告・調査研究発表を2月22日(月)に実施しました。

- ① 研修部研修係活動報告
研修部では、若手教員(1年次〜3年次)育成に向けた年次ごとのねらいや実施した研修等について報告。
- ② わかば教室活動報告
わかば教室(適応指導教室)では、活動状況、指導・支援の状況を報告。
- ③ 登校支援研究報告

- ④ 教育資料・広報報告
教育資料室の役割、ホームページのリニューアル、図書の管理改善の取り組みについて報告。
- ⑤ 理科教育推進研究
「ひのっ子が主体となる理科教育」を実現するための土台づくりの研究成果(教員の

登校支援コーディネーターが、不登校、登校しづり等の情報の整理・共有情報化による支援、関係機関との連携による支援の状況を報告。

- ⑥ 郷土教育推進研究
「ふるさと日野」に誇りと愛着を持つ「ひのっ子」の育成を願い、幼・小・中学校における郷土教育の在り方を研究主題に事例研究、フィールドワーク等の成果を発表。
- 教育センターでは、第2次学校教育基本構想を具現化するために実施した活動、調査研究の成果を各小中学校、関係機関で授業等に活用していただくことを期待します。

ひのっ子ががんばってます

豊田小学校



「税に関する絵はがきコンクール」で日野法人会長賞を受賞

中村 絵 さん
「税の大切さ」や「税の果たす役割」について、自分の考えを絵はがきに表しました。「税金はいろいろなところで大切に使われている」ことを色鮮やかに描きました。

「MOA美術館全国児童作品展」でMOA美術館奨励賞を受賞

田栗結乃愛さん



発表中の大野彰仁君

全国45万2000点の応募の中で、見事、銅賞に選ばれました。作品は、家族旅行で見つけたお気に入りのシーサーです。結乃愛さんの明るさと自由な発想から、元気溢れる作品に仕上がりました。

平山小学校

夏休みの研究を都科展で発表しました

2月9日から14日までの間、東京都小学生科学展が東京都美術館において開催されました。日野市を代表して、本校5年生の大野彰仁君が夏休み中に取り組んだ「水溶液と植物の発芽」の研究が展示され、優秀賞に選ばれました。13日には口頭発表があり、見学者に研究の成果を直接伝えました。

夢が丘小学校

伝統行事、持久走・駅伝大会
2月4日、恒例の持久走(1年〜4年生)、駅伝(5・6年生)大会を実施しました。マラソントイムで、毎日走り込んでいた子供達は全員がみごと完走。特に、駅伝大会は、5・6年混合でチームをつくり、校庭と外周道路を一人1000mずつ走り、チームのたすきをつなぎます。子供達は、たすきの重みと責任を感じながら、保護者や地域の方々の大きな声援を受けて力いっぱい走り切りました。6年生から5年生に本物のバトンが渡される日も間近です。



後期広報委員会



前期広報委員会

日野第七小学校

「伝えたい」
七小広報委員会では、月に一回学校新聞「七校」を発行しています。この度、東京都小中学校新聞コンクールにおいて「奨励賞」をいただきました。子供たちは、任された役割を果たし、自主性を育てています。また、昨年7月には、朝日小学生新聞主催の学校新聞コンクール7月に入選し、マラソン元五輪代表増田明美さんより「伝えたい」という気持ちがあふれています。など選評をいただきました。

みんなの
お楽しみ

八ヶ岳高原大成荘

小学5年生の移動教室でおなじみの八ヶ岳高原大成荘は、ご家族やグループなど学校活動以外でもご宿泊いただける施設です。

周辺には魅力的な観光スポットがいっぱい！雄大な八ヶ岳を望む清里の豊かな自然は、四季の移ろいとともに様々な表情を見せてくれます。

ぜひご利用ください。

予約・問合せ先

0120-489-571

(大成荘直通フリーダイヤル)
毎日午前9時～午後7時受付
付/携帯・PHS可

※指定管理者(日野市企業公社)ホームページで空き室状況や現地情報をご覧ください。
(http://www.kousha.jp/)



季節ごとに創意を凝らしたお料理はボリュームもたっぷり！

(生涯学習課)

子どもたちと本を結ぶ 移動図書館ひまわり号

今から50年前、図書館は市民の身近な存在とは言い難い図書館ばかりでした。そこで「どこでもなんでも どなたでも」本が借りられる、市民のための図書館を実現させようと移動図書館ひまわり号が生まれ、1965(昭和40)年の9月、本の貸出しが始まりました。

今では、通常の貸出し(巡回貸出)だけではなく、幼稚園・保育園・児童クラブへも貸出し(団体貸出)を行っています。ひまわり号が行くと園児、児童のみんなは、たくさん本のの中からお気に入りの一冊を見つけて、元気に喜んで借りていきます。そして、帰るときは手を振って見送ってくれます。貸し出す職員も借りる園児、児童のみんなも笑顔になれる。



(図書館)

それがひまわり号です。ひまわり号がきっかけで本を好きになってくれたら幸いです。これから50年先もひまわり号が元気に活躍できるように応援よろしくお願いたします。

児童・生徒の学びに役立つ 郷土資料館の資料

冬には昔の道具が大活躍

小学3年生は、社会科の授業で「昔の道具とくらし」を学びます。12月から2月にかけては、資料館の昔の道具が大活躍しました。昔の道具を中心に、展示見学や出張授業に19件の利用がありました。

郷土資料館の「昔の道具」が職員とともに小学校にやってきました。こんな様子です。「さあてこの道具は何かなく？」「お寺にある・・・ひしゃく！」と想定どおりのこどもの答えがかえってきます。「ひしゃくに似ているけれどもこれは「ひのし」という道具です。」

「ひのし、日野市？」
「火のしは昔のアイロンで、炭を入れて熱くするものですよ。」などと、やりとりをしながら説明していきます。

昔の道具を実際さわってみることで、子どもたちは様々なことに気が付きます。羽釜に磁石をつけて鉄であることを実感したり、ごはんを入れる飯びつの中の匂いをかいでみたり。昔のアイロンをもつて重さを実感したり。実体験が加わることで児童の心に少しでも多くの印象が残ればなによりです。

様々な体験の機会を提供

昔の道具だけでなく日野市の歴史・考古・民俗・文学・自然などに関して、学校や現地に出張して、案内することもできます。もちろん郷土資料館にて社会科見学や体験を行うことができます。これまでも学校から様々な提案をいただけてきました。実施



郷土資料館での脱穀体験

例としては次のようなものがあります。
● 土器・石器の説明と火起し体験：縄文土器や石器などの解説や火起し器を体験
● 脱穀体験：千歯こきや唐箕を使い、学校の水田で作った稲の脱穀体験

● 多摩川の河川敷を訪れ、砂の中にキラキラ光る貝の化石、果穴の化石など自然の面白さを発見
● 調べ学習で、日野市の歴史の概観や、平山季重、日野駅などについて説明
● 朝礼にて勝五郎生まれ変わり物語を紹介
● 「たぬきの糸車」に登場する糸車や、「ごんぎつね」にキツネのはく製を貸出
郷土資料館の資料は、子どもたちが手で触れて動かしたり、先人たちの思いを想像したりすることで、生き生きと活躍しています。

(郷土資料館)

『第5回 日野市ロープジャンプ/小学生大会』 が開催されました



2月27日(土)「市民の森ふれあいホール」にて『第5回日野市ロープジャンプ/小学生大会』が市立小学校14校・50チーム、児童約1200名の参加のもと盛大に開催されました。
結果につきましては、第1位日野第五小学校「五小全力魂」チーム、第2位日野第六小学校「三代目 Hatanaka Children」チーム、第3位豊田小学校「豊小512」チームでした。
参加いただいた児童のみならず、指導・引率いただいた先生方、また当日ご声援いただいた皆様ありがとうございました。
(文化スポーツ課)

家庭教育通信 15

「子供たちのいちばんの願い、それは何だかと思いませんか？」

「あなたの家庭にもっと望むことがあるか」と子供たちに聞いたところ、どの年代の子供でもいちばん多かった答えは「家族のみんなが楽しく過ごす」でした。そんな当たり前のことを子供たちが願わざるを得ない現実を、親として真剣に受け止めたいものです。必要なモノさえ与えていれば子供は育つ、と思えた時代もありましたが、いまや楽しい家庭は家族が意識的に協力し合わなければなかなか得られません。

子供にとって心安らぐ居場所になつていくかどうか、家庭を見つめ直してみましよう。出典 文部科学省発行「家庭教育手帳」 (生涯学習課)

第九回 新選組書展開催

新選組のふるさと歴史館では、新選組ゆかりの文字を書く公募の書道展「新選組書展」を、例年開催しています。

今年の課題は、毎年の課題「誠のほか、幕末の文体である候文(会津公御預り身相成居候)、新選組ゆかりの地名シリーズ「流山」の三つです。

「会津公御預り身相成居候」は、浪士組として京都にいた近藤勇が、文久3年(1863年)3月23日に実兄宮川晋五郎や日野の佐藤彦五郎に宛てた手紙「志大略相認書」の一文です。將軍や天皇のために命を捨てて働きたいという願いが聞き入れられ、会津公(京都守護職松平容保)のもとで働くことになったことを伝えていきます。

また、「流山」は、近藤勇が新政府軍に投降した場所、近藤はその後板橋で処刑されました。

全国から寄せられた応募作品は74点におよび、そのうち日野市内の小・中学生の応募は59点でした。
新選組書展では、これら応募作品をすべて展示します。この機会に、新選組の歴史に触れながら、筆文字の面白さを味わってみてはいかがでしょうか。

【会期】3月1日(火)～4月10日(日)
【会場】新選組のふるさと歴史館(電話583-5100)
※応募多数のため、会期中に展示作品を入れ替えます。



(新選組のふるさと歴史館)

いっしょくち スポーツライオン開催



【日時】4月16日(土)
開演午後2時(開場午後1時30分)
【会場】ひの煉瓦ホール(日野市民会館) 大ホール
【料金】4,000円(全席指定)
【チケット販売】市民会館、七生公会堂ほか
【問合せ先】文化スポーツ課
(文化スポーツ課)